

平成 28 年 12 月 8 日

鹿児島大学病院 消化器外科 で

膵がんの治療を受けた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院消化器外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

膵臓がんにおける診断・治療標的分子の同定と in vivo 評価系の構築。「大阪大学との共同研究」

【研究機関】

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器外科

鹿児島大学病院 病理部（病理診断科）

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 腫瘍学講座 分子腫瘍学分野

【研究責任者】

鹿児島大学病院

消化器センター 消化器外科

教授 夏越 祥次

【研究の目的】

膵がんは膵臓から発生するがんです、現在でも治療困難ながんの

一つです。がんは一つ一つ性格がことなっています。本研究はがんのリボ核酸や蛋白質の変化について調べることで、今後の膵がんの新たな診断・治療の方法の確立に役立てることを目的としています。

【研究の方法】

手術標本検体について正常部位と腫瘍部位にあるリボ核酸 RNA（蛋白質の設計図である mRNA、短くて mRNA の発現を変化させる miRNA、RNA の修飾エピジェネティクス）を調べ比較します。

病理検体標本を用いて、同定された治療標的候補蛋白質についての免疫組織染色を行う。

●対象になる患者さん

平成 20 年 10 月 20 日から平成 28 年 11 月 30 日までに、鹿児島大学病院消化器外科で膵臓がんと診断され、腫瘍切除の治療を受けた患者さんを対象にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

診療録から以下の情報を利用します。

1.臨床情報：

●性別、年齢、診断時の全身状態（パフォーマンスステータス）、身長、体重

●血液検査所見：各種腫瘍マーカー（CA19-9、CEA）、

●膵がんに関する腫瘍情報：肉眼形態、腫瘍部位、病巣の数と大きさ、局所進展度、リンパ節転移の有無、遠隔転移の有無、進行度（ステージ）、リンパ管侵襲、静脈侵襲、組織型

2.治療法：

●手術：施行日、術式、●化学療法：施行日、化学療法内容、副作用

●放射線療法：施行日、合計線量、副作用

3.生命予後：

●手術あるいは治療開始後からの生存期間

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、厚生労働省・文部科学省・研究助成の財団の研究費で実施します。この研究に対する企業等からの寄付は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器外科

連絡先 TEL:099-275-5361 (直通)

研究分担者 消化器外科 准教授 前村 公成